

【基礎分野】

科目名	情報科学Ⅲ (保健医療における情報通信技術)	講師名	専任教員 (13) 非常勤講師 (2)	学 年	1	履 修 期	第2学期
単 位	1 単位						
時間数	1 5 時間						
講師実務経験	専任教員：看護師としての臨床経験あり。						
授業概要	保健医療における情報の「いかし方」、情報を扱ううえでの患者を中心とした「まもり方」としての情報倫理について学ぶ。さらに、情報通信技術（ICT：Information and Communications Technology）を取り入れながら、医療や看護の実践に活かす方法を学ぶ。						
授業科目目標	1. 情報の特性、コンピュータリテラシー、情報倫理について理解できる。 2. 情報通信技術（ICT）を医療・看護に活かす方法が理解できる。						
授業計画	<p>1回：情報と情報社会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 情報の定義と特徴：情報とは、情報の特性、情報の認知と意思決定 2) 情報社会の成立と発展：情報通信技術（ICT）とその活用、情報化による社会の変化 3) 情報社会で求められること：情報格差とその問題・解消、情報社会におけるリテラシー <p>2～3回：保健医療における情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療における情報：医療情報の種類、医療情報の標準化と電子化、医療情報の利用と倫理 2) 医療における情報の記録：医療記録・情報を共有するための方法と実際 3) 病院情報システムの活用 <p>4～5回：既存の情報の収集方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 文献検索：文献の種類と検索方法 2) インターネット上で役立つ情報へのアクセス：検索エンジン・データベースの使い方 3) データ検索と利用 <p>6回：地域医療福祉のネットワークと情報システム</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療・介護・健康分野のネットワーク化の推進 2) 遠隔医療・遠隔看護の実際 3) 地域における ICT 活用と医療上の管理に関する課題 <p>7回：情報と倫理</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 情報倫理と医療：情報倫理とは、情報倫理の4つの原則 2) コンピュータリテラシーとセキュリティ：コンピュータに関する基礎知識、インターネットに関する基礎知識と注意点 <p>8回：終了試験</p>						<p>講義</p> <p>講義・演習</p> <p>講義・演習</p> <p>講義</p> <p>講義</p>
評価方法	筆記試験（90%）、課題提出等（10%）						
テキスト	系統看護学講座 別巻 看護情報学, 医学書院.						
参考書	講義の中で紹介						
学生へのメッセージ	近年の医療や看護の現場では、コンピュータの端末であふれ、さらに、スマートフォンやタブレット端末など、いつでもどこでも情報を手に入れられる時代です。このように便利で身近である一方、個人情報の流出などのリスクもあります。 したがって、専門職である看護師にとって必要不可欠な情報通信技術の「いかし方」や「まもり方」を学び、情報社会に適応できる力を身に付けていきましょう。						